

第19回荒川区地域公共交通会議

議事要旨

日時：令和7年12月8日（月）10：00～10：40

場所：荒川区役所北庁舎1階101会議室

1. 開 会

- (1) 荒川区防災都市づくり部長挨拶
- (2) 委嘱状の交付
- (3) 資料の確認
- (4) 会長の選任

2. 報告事項

病院間送迎サービスを活用した地域交通の実証運行について

3. 閉 会

(配布資料)

資料1 病院間送迎サービスを活用した地域交通の実証運行について

資料2 荒川区地域公共交通会議設置要綱・参考資料

1. 開会

- ・ 防災都市づくり部長挨拶
- ・ 会長挨拶

2. 報告事項

病院間送迎サービスを活用した地域交通の実証運行について

<事務局>

事務局から説明

<委員>

シルバーパスは乗降資格の確認のために提示させるのか。シルバーパスを管轄する東京都福祉局にも情報提供はしたほうが良い。

<事務局>

シルバーパスは乗降資格の確認のために提示していただく。東京都福祉局には情報提供する。

<委員>

町屋駅から南千住駅間がコミュニティバス「さくら」のバスルートと重なっているので、実証運行の輸送人員数を情報共有していただきたい。また、コミュニティバス「さくら」の存続に向け、今後も、意見交換したい。

<事務局>

了解した。

<会長>

コミュニティバス「さくら」の運行本数は何本か

<委員>

左回りが22本、右回りが6本である。

<委員>

車椅子利用者、シルバーカーの方など身体が不自由な方は利用できないのか。

<事務局>

車椅子利用者向けには福祉サービスがあるので、そちらをご利用いただきたい。また、原則は診察券もしくはシルバーパスの所有の方を対象としているが、空きが多いようであれば、運転手の判断で介助の方も乗車できるようにすることも考えられる。

<委員>

運行費を助成することは、道路運送法上、有償運送とみなされないか。

<事務局>

道路運送法上、有償運送に当たらないと解されることを国に確認している。

<委員>

事故を起こした場合の対応は。

<事務局>

法人が加入している任意保険で対応する。

<委員>

アクロシティから南千住駅までの所要時間は短すぎる。

<事務局>

実走した上で時刻表を作成したが、実証運行が始まり、運転手の負担となるようであれば見直しを検討する。

<委員>

運転手は何人か。1名であれば、連続した運転となり心配だ。

<事務局>

運転手は1人である。運転手の負担となるようであれば、運営方法を検討する。

<委員>

乗降場所には表示をするのか。降車の際にはボタンを押すのか。

<事務局>

乗降場所は、その位置に路面標示する。降車方法については各乗降ポイントに必ず停まるので、ボタンを押す必要はない。

<委員>

時間帯によっては乗り切れないのではないか。

<事務局>

現在の利用実績から乗り切れない事態は想定していないが、その点についても、実証運行を通じて明らかにしたい。

<会長>

他に意見がなければ、本件について、ご承知いただきたい。

3. 閉 会